



やりがいは、
ここから。

四国総合通信局

職員からのメッセージ



総務省

Ministry of Internal Affairs and Communications



ICTを活かした地域課題の解決

ICTによる四国の産業の高度化

豊かなライフスタイルのための生活支援

多様な働き方の実現

四国の未来を支える人づくり

安心して暮らせる環境づくり

次の時代を見据えた 地域社会の実現へ



四国の情報通信の活性化のため

日々発展している情報通信分野で四国の活性化に携われることや、基本的には地元である松山勤務になるため、将来設計を立てやすいことに魅力を感じ、四国総合通信局を志望しました。

現在は放送課に所属し、四国管内の放送局の許認可・監督業務を担当しています。私たちの身近にあるテレビ・ラジオなどはすべて電波を利用しています。これらの放送事業者が無線局の設備更新を行う際に、使用する電波が他の無線局に干渉を与えないかなど技術的な審査を行い、安全かつ円滑に放送されるよう電波の適正な運用に努めています。

法律に基づく業務を行う一方で、「四国コンテンツ映像フェスタ」というイベントを実施しています。これは、四国の映像制作の人材育成と制作活動を通じた地域の魅力発信の推進を目的としたデジタル動画コンテストです。今年は100作品を超える応募があり、私にとっても知らなかった四国の魅力を発見できる楽しいイベントとなりました。

このように無線局の許認可からイベント開催まで幅広い業務を行っており、毎日新鮮な気持ちで仕事に取り組んでいます。



情報通信部 放送課
第二放送担当

森岡 祐貴

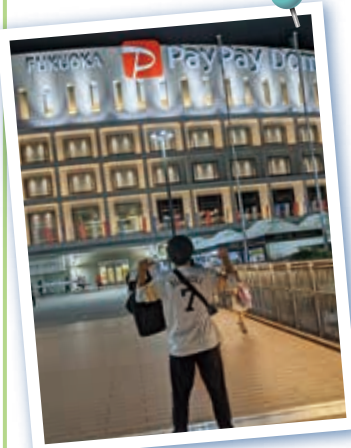
行政採用（文系）



One day schedule

- 8:30 始業
メール、スケジュールの確認
- 9:00 無線局申請の申請書受付、
上司に相談して審査
- 12:00 昼食
- 13:00 放送事業者から提出される
書類の処理
- 15:00 課内打合せ
- 17:15 終業
家でゆっくり

Private time



休日や終業後には趣味のプロ野球観戦を楽しんでいます。実際に球場に足を運ぶこともあります。一喜一憂しながら観戦し、気持ちをリフレッシュしています。

また、職場の人たちと登山などでアウトドアを楽しんでいます。有給も取りやすい職場ですので、オンとオフを切り替え、自分の時間を大切にしながら、日々の生活を送ることができています。

地域の課題やニーズを把握する

私は、令和4年3月に公表された「デジタル田園都市国家インフラ整備計画」に基づき立ち上げた「地域協議会」の運営を担当しています。四国では高齢化や過疎化が進み、地域の課題解決に繋がる5Gや光ファイバ等のICTインフラが未整備の地域が少なくありません。「地域協議会」では、県・市町村、通信事業者等の関係事業者に参加いただき、四国における光ファイバ未整備地域や5G普及に関する課題の解決などに取り組んでいます。

担当業務は、会の設営準備や資料作成、市町村へのヒアリングなど多岐にわたります。ヒアリングでは、課題がある市町村に状況をうかがい、課題解決に繋がる事例や国の補助制度などをご紹介しています。市町村の方々とお話していると、自分の携わる仕事が四国の活性化に繋がっていることを実感することができます。ふるさとの活性化に直接貢献できるのがこの仕事の魅力です。

職場環境については、テレワークや時差出勤を用いた柔軟な働き方が推奨されており、非常に働きやすい環境であると感じています。また、和やかで風通しが良く、安心して働ける職場です。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています！



情報通信部 電気通信事業課
支援担当

高須賀 美波

行政採用（文系）



One day schedule

- 8:30 始業
スケジュール・メールを確認
- 9:00 課内打合せ
- 10:00 資料作成
- 12:00 お昼休み
女性休憩室で先輩とランチ
- 13:30 外部の方と打合せ（オンライン）
- 15:00 打合せの内容整理
- 17:15 終業
犬の散歩 家でのおんびり過ごす

Private time



退庁後にヨガやストレッチを行うことがマイブームです。気づいたら1時間経っていた、なんてこともしばしば。休日は、友人と趣味の習い事に通ったり、お出かけをしたりしています。プライベートの時間もしっかりと充実させることができる職場です。

新しい知識を業務に活かす

私の地元では特産物であるミカンの栽培をしています。近年ドローンを使用して作物の生育観察や農薬等の散布などを行うようになった結果、長時間労働や労働力不足の解消につながりました。このような地域課題を解決できる情報通信技術に興味を持ち、最先端技術によって四国の発展に貢献することに魅力を感じ入局を希望しました。今後は、地域発展の基礎になるローカル5Gなどの技術に行政の面から携わっていければと思っています。

私は現在、アマチュア無線局の許認可の業務を行っています。無線局の許認可業務は法令に則って処理する知識に加え、無線機の技術的な知識も必要となりますが、基礎的な無線工学知識や無線機の操作研修が準備されており、上司や先輩にもサポートしていただけるため、現在では滞りなく職務を行うことができます。

最初は慣れない専門用語に戸惑いましたが、日々新しい知識を得ることはとても面白く、学んだことを実際の業務に活かすことができた時には達成感があります。これからもさまざまな業務知識を習得し、情報通信行政に取り組んでいきたいと思っています。



無線通信部 陸上課
私設無線担当

渡邊 俊

行政採用（文系）



One day schedule

- 9:00 始業（時差出勤）
メール、スケジュール等の確認
- 9:30 アマチュア無線局の申請書の処理
- 10:00 免許人からの電話対応
- 12:00 昼食（お弁当か同期とランチ）
- 13:00 アマチュア無線局の申請書の処理
- 15:00 WEB研修等受講
- 17:45 退勤
同期と釣りに行ったり、家でゆっくり

Private time



ラーメンが大好きで、休日には松山近郊でラーメン屋巡りを楽しんでいます。

松山には初めて住むことになりましたが、ラーメン屋が多く、店ごとにメニューもかなり豊富なので、かなり満足しています。今後は日本全国のラーメン屋を巡っておいしいラーメンに出会い、自作で再現できたらと思っています。

電波利用環境を守るために

私の所属する監視調査課では、電波監視に使用する機器の保守点検や不法な無線の探査などを行っています。消防や救急、航空無線など、私たちの生活に欠かすことのできない無線局に障害が生じた際、迅速に妨害源を特定・排除するために現地へ向かったり、総務省から免許を受けていない不法無線局を摘発するため取り締まりを実施したりと、電波利用環境を守るため職場を飛び出し四国中を駆け巡っています！

入局のきっかけは、コロナ禍でテレワークやリモート会議の普及といった様々な変化が起こっている中、偶然参加した大学の業務説明会で、今注目されているIoT・ICTや5Gなど最前線の情報通信技術を扱っていると知ったことです。実際に業務説明会に参加してみると、職員同士の雰囲気がとても良く、自分に合っていると感じたことが入局の決め手となりました。

四国総合通信局は、文理問わず様々な方が活躍している職場です。電波やIoT・ICTのことをもっと知りたい方はもちろん、「よく分からないけどおもしろそう」と少しでも興味を持った方は、ぜひ、業務説明会や官庁訪問に参加してみてください！



電波監理部 監視調査課
技術調査担当

菊池 拓実

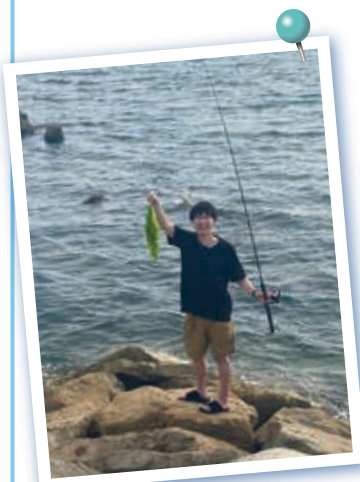
行政採用（文系）



One day schedule

- 8:30 始業
1日のスケジュールの確認
- 9:00 電波監視システムが正常に動作しているか確認
業者との打合せ準備
- 12:00 昼休み
- 13:00 打合せ（オンライン）
- 15:00 打合せの資料整理
- 17:15 終業

Private time



退庁後や休日は、松山周辺をランニングしたりサイクリングをしたりするなど、体を動かしてリフレッシュしています。また、同期や先輩方と釣りに行くこともあり、最近はYouTubeを見ながら魚のさばき方を学んでいます。まだ始めたばかりなので、いつか大物を釣り上げたいです！

防災に携わるやりがいのある仕事

通信分野の最先端の技術に触れながら仕事ができること、採用3年目に東京の総務本省で2年間勤務の経験ができることに魅力を感じ、入局を決めました。

現在は、自治体の防災行政無線や消防無線の許認可を担当しています。近年、四国において大規模災害が想定される中、防災、応急救助、災害復旧に大きく貢献する手段として、防災行政無線は重要な役割を担っています。防災行政無線の整備にあたっては、自治体やメーカーのヒアリングを通じて、地域のニーズに応じた整備計画を検討していきます。その後、電波法に照らして申請書を審査します。無線局を免許するのは責任のある仕事ですが、地域住民の安心安全の確保につながる無線の整備に携わることができ、日々の業務にやりがいを感じています。

入局まで無線工学を専門的に学んだ経験はありませんでしたが、研修や上司の指導が充実しており、業務を通じて学ぶことのできる環境が整っています。理系、文系にかかわらず、新しい知識を身につけながら、日々、成長を実感できる職場であると思います。これからみなさんと一緒に働くことを楽しみにしています。



無線通信部 陸上課
公共団体担当

栗田 佳世子

行政採用（文系）



One day schedule

- 8:30 始業
1日の予定やメールを確認
- 9:00 無線局免許申請の申請書受付
- 12:00 昼休み 先輩方と休憩
- 13:00 無線局免許状の交付準備
- 14:00 提出された申請について
上司に相談して審査
- 17:15 終業
家に帰ってゆっくり過ごす

Private time



休日は職場の有志と釣りや登山に出かけ、新たな趣味の開拓を楽しんでいます。年次有給休暇も取りやすい職場であり、アウトドアやスイミングで身体を動かし、リフレッシュして仕事に取り組むという自分らしい生活を送ることができています。趣味のバイクに乗って全国に旅行に行くのが楽しみです！

地域住民の安心・安全のため

昨年まで2年間所属した総務本省の重要無線室では、消防・救急無線や、防災行政無線、警察無線などの重要無線に係る業務を担当していました。特に、災害時に防災情報等を伝える防災行政無線の制度の見直しや、災害現場において公共機関が機動的かつ確実な映像伝送を実現するために導入された「公共ブロードバンド移動通信システム」に関する業務では、全国の自治体から各地方の総合通信局を通じてシステム導入の相談を受け、異なる免許人の無線局と混信が発生しないよう周波数調整をしたり、新たな通信技術を用いた実験用の無線局の免許相談対応を行ったりして、地域住民の安心安全の確保につながる業務に携わることで、やりがいを持って仕事をすることができました。

現在の総務課財務室では、電波利用料に関する業務を担当しています。電波の適正利用を確保するため、電波利用料制度を意識することで、無線通信業務についてより深く学びつつ業務を行うことができます。また、本省時代に電波利用料に関する業務を経験し、本省の業務が地方局で活かされていることを実感しています。

四国総合通信局は、理系・文系にかかわらず様々な業務で活躍できる職場です。少しでも興味があればぜひ説明会へお越しください！



総務部 総務課 財務室
電波利用料担当

山西 俊輝

技術系採用（理系）



One day schedule

- 8:30 始業
メール、スケジュールの確認
- 9:00 電波利用料債権の処理、
電話対応
- 11:00 出張の準備・打合せ
- 12:00 昼休み
- 13:00 ホームページ更新の準備
- 15:00 債権処理に関する打合せ
- 17:15 終業

Private time



家ではいつもハムスターに癒やされています。最近新しく買ったおやつがお気に入りなのか、ケージから身を乗り出しておやつを探している姿をよく見かけるようになりました。

また、休日はランニングで汗を流したりゲームをしたりしています。有給休暇を取りやすい職場であるため、予定を立てやすいのも当局の良いところだと思います。

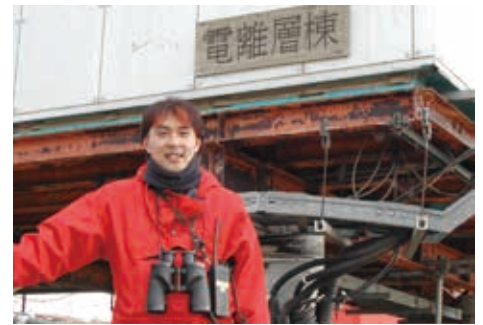
ICTで様々な業務に携わる

ICTの進化はとどまることを知らず、放送分野で大きな変化を遂げたのが「テレビジョン放送のデジタル化」で、その一端を担ったのが総合通信局です。

現在の主な業務は、放送事業者が所有する無線局の許認可・監督業務、また臨時災害放送局の周波数選定・調整作業です。臨時災害放送局とは、災害時に自治体等が臨時で開設するFM放送局で、被災された住民への情報提供に役立つものと期待されています。もちろん、災害など発生してほしくはありませんが…。

現在の通常業務とは別に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では電波監視業務要員として2か月ほど現地に滞在し、会場及びその周辺における国内外の無線局・放送局を監視することで、大会の成功に貢献することができました。また、第44次日本南極地域観測隊（電離層観測）隊員として1年2か月ほど昭和基地で越冬し、オーロラやペンギン、ブリザードなどの大自然を身近に感じながら業務を遂行しました。ここでの仕事や生活は一生忘れることはないでしょう。

このようにICTを始め様々な分野での業務に携わることができ、また思い出に残る仕事ができる、それが総合通信局の大きな魅力です。



情報通信部 放送課
第1放送担当

奥 政之進

行政採用（理系）



One day schedule

- 8:30 始業
メール、スケジュールの確認
課内メンバーの勤務時間管理
- 9:00 放送関係無線局の許認可・
監督業務
- 12:00 昼休み
- 13:00 周波数選定のための技術計算
- 15:00 補助金申請に係る審査業務
- 17:15 終業
ジム、ジム、ジム！

Private time



子育てを終え、自分の時間ができたこともあり、3年ほど前からスポーツジムに通うようになりました。ほぼ毎日、ダンスやヨガなどのスタジオレッスンを2～4本受講し、そのあとプールで1,500～2,000m泳いでいます。

今年の目標は、クロール50mの自身最速ラップを3秒縮めることです。ICTの進化とともに自分自身も進化し続けたいですね。

通信で地域住民をサポート

国家公務員や民間専門人材を市町村長の補佐役として派遣する地方創生人材支援制度により、平成31年4月から丸2年間、愛媛県久万高原町に総合戦略監（情報政策推進室長兼務）として派遣されていました。

都市部で生活していると感じませんが、山間部など日本の面積のおよそ3～4割も携帯電話が繋がらない場所があります。林業現場はそのような場所で、事故等の際に現場から救助要請できないという課題があります。そこで、LPWAという無線通信技術を使い、森林を含む久万高原町全域をカバーする通信網を構築し、位置情報を伴う救助要請ができる仕組みを作りました。この取組は、全国初のもので、林野庁の林業白書にも先進事例として取り上げられています。

自治体で働いてみて感じたのは住民との距離感が全然違うことです。四国総合通信局の業務では、一部の部門を除いて国民の皆さんと直接相対することはありませんが、町では住民との距離がとにかく近く、気軽にお声をかけていただくこともあります。常に住民を意識して仕事をする経験は貴重でした。

様々な経験ができる職場です。ぜひ、一緒に働きませんか。



情報通信部 情報通信振興課
地域振興担当

新山 裕子

行政採用（文系）



One day schedule

- 8:30 始業
メール、スケジュール等の確認
- 9:00 会合準備、関係者との調整打合せなど
- 12:00 昼休み 周辺店舗で食事
- 13:00 補助事業の進捗管理、自治体からの質問に対応等
- 15:00 データ分析、資料作成
- 16:30 上司と打合せ
- 17:15 終業
夕飯の買い物をして帰宅

Private time



「猫は液体である」というネット言葉がありますが、休日の私もほぼ液体です。ソファに寝そべって録画したドラマやインターネット動画を見ています。

そんな私が新型コロナ対策のテレワークで家にいる時間が増えたのをきっかけに、庭で草花を育て始めました。小さな庭ですが、秋には春に咲く球根詰め合わせセットを買い、たくさん植えました。花が咲くのが楽しみです。

採用から半年間の歩み >>>>

4月



採用後、全国の同期と共に、総務本省や研修所で約1か月間研修を受けます。無線技術や電波法などの基礎的な知識の習得からビジネスマナーの講義まで幅広い研修があります。

5月



四国に戻ってからも職場研修を行います。局内研修で各課の業務を学ぶほか、無線局を実際に運用する施設として、放送局のスタジオを見学します。

6月



6月1日は「電波の日」。電波法施行を記念した式典にスタッフとして参加し、情報通信の歴史の重みを感じます。

採用

7~9月



採用から6か月間は条件付採用期間として、指導員のもと様々な実務指導を受けながら、徐々に仕事を習得します。

10月



条件付採用期間が終了し、正式な通信局の一員となりました。これから様々な業務に意欲的に取り組んでいきましょう！

Q

&

A

よくある質問

Q. 勤務地はどこですか。

A. 当局は四国4県を管轄していますが、出先機関がないので愛媛県松山市勤務となります。ただし、採用後3年目からの2年間は総務本省（東京）で勤務をしていただく機会があります。また、キャリアアップのため、本省での勤務を希望することも可能で、海外勤務も夢ではありません。

Q. 電波の知識はありませんが、技術的なことに対応できるでしょうか。

A. 当局は行政、技術系の試験区分にとらわれず人物本位の採用をしています。採用後、本省や情報通信政策研究所（東京都国分寺市）において約1か月間の新規採用者研修があるほか、各種業務に直結した専門的な研修を20コース以上準備しています。

Q. 採用人数はどれくらいですか。

A. 過去5年間の採用状況は以下のとおりです。

	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
行政	1	1		2	2	1	1	1	2	3
技術系	1									

Q. 採用後はどのような業務を経験できますか。

A. 本人の希望や、適性などを考慮して、より多くの部署での業務経験を積んでもらうことを目的に、おおむね2~3年ごとに担当業務が変更となり、無線局の許認可やICT利活用の推進など様々な部署を担当してもらいます。配属先や業務内容について、行政と技術系の区別はありません。

新規採用職員に聞きました！

令和5年度は5名のフレッシュな職員が四国総合通信局に入局しました。

新規採用者研修では、ビジネスマナーや国家公務員の倫理について学び、東京都にある研修所では、全国の同期が集合し、電波法や無線通信技術、ネットワーク技術等の基礎について学びました。

研修後は、先輩職員指導の下、立派な職員になるため日々業務に取り組んでいます。

そんな入局して間もない5名に、四国総合通信局を志望した理由や職場の雰囲気について聞いてみました。



情報通信部
情報通信振興課

金井 咲美

Q1. 志望理由を教えてください。.....

発展し続ける情報通信技術に携わることができる点に惹かれたのが志望したきっかけです。入局の決め手は、業務説明会で職員の皆さんが明るく業務をされていたのを見て、この雰囲気の中で働きたいと思ったからです。

Q2. 職場の雰囲気を教えてください。.....

非常に丁寧に上司から業務について教えていただける職場です。業務で困ったことがあっても聞きやすく、安心して楽しく働いています。今年の新規採用職員研修は全国の同期が集まって行われたので、他局の同じ部署の同期と仲良くなり、業務上の不安や疑問など共有して頑張ることができています。

Q3. 受験生へのメッセージをお願いします。.....

入局する前までは、電波や通信について分からないことが多く不安でしたが、実際に入局してみると、充実した研修や上司からの丁寧な指導を受けて、徐々に知識を身につけて働くことができています。ぜひ庁舎に足を運び、職場の雰囲気を感じてもらえると嬉しいです。



無線通信部
無線通信課（陸上関係）

佐々木 菜花子

Q1. 志望理由を教えてください。.....

大学時代の経験から、防災に携わる仕事がしたいと思ったことがきっかけです。特に、数ある防災業務の中でも、国家公務員として長期的・専門的に携われる点、情報通信という新たな切り口から防災にアプローチできる点で、四国総合通信局に強く惹かれました。

Q2. 職場の雰囲気を教えてください。.....

とにかく穏やかで居心地の良い雰囲気です。入局前は緊張と不安でいっぱいでしたが、実際に働き始めると、想像以上に周りの先輩方が優しく、日々支えられています。

全国の同期とは、入局後すぐに行われる研修でとても強いつながりができました。悩みがある時には心強い存在となっています。

Q3. 受験生へのメッセージをお願いします。.....

この仕事面白そう！やってみたい！などの自分の直感を大切に、幅広く目を向けながら、進路を決めていってください。自分のやりたいことや好きなことの軸がぶれなければ、絶対に上手くいくと思います。



情報通信部
電気通信事業課

渡部 昇樹

Q1. 志望理由を教えてください。

やりがいがある職場で、なおかつ松山で働きたいと考えており、説明会に参加してICTを活用して地域を活性化させる非常にやりがいがある職場だと感じました。説明会で感じた職員の方々の人柄、雰囲気の良いにも魅力を感じ、私の理想にぴったりの職場だと思い、志望しました。

Q2. 職場の雰囲気を教えてください。

入局後すぐに東京研修があり、研修で知り合った同期と旅行に行くほどの仲になりました。入局3年目に2年間の本省勤務があり、そこでは共に働く仲間にもなり、それ以降も仕事についてアドバイスし合うこともできます。全国に貴重な仲間ができることも魅力のひとつです。

Q3. 受験生へのメッセージをお願いします。

皆さんの中には、四国総合通信局について知らない方も少なくはないのかなと思います。私も業務説明会に参加するまで、全く馴染みのないものでした。どこを志望するにしても、企業や官庁を知り、選択肢を持つことは非常に大切です。色々なところに顔を出し、話を聞き、質問をし、職員を観察してみてください！



無線通信部
電波利用企画課

絹笠 皓樹

Q1. 志望理由を教えてください。

地元である松山で働くことができ、転勤がないのでライフプランが立てやすいこと、説明会などで感じた職場の柔らかい雰囲気が自分に合っていると感じ、志望しました。

Q2. 職場の雰囲気を教えてください。

同期、先輩ともに穏やかな人が多く過ごしやすい雰囲気です。仕事内容、電話対応などについても丁寧に教えてもらえるので、新人に優しい環境です。入局前の説明会に参加して感じた雰囲気と実際の雰囲気にギャップは感じていません。

Q3. 受験生へのメッセージをお願いします。

仕事内容について丁寧に教えてもらえ、研修も充実していて働きやすい職場です。公務員試験の対策で毎日ストレスを感じることも多いと思いますが、休むことも時に努力以上に大切だと思いますので、頑張りすぎず頑張ってください。



無線通信部
無線通信課(陸上関係)

上里 綺音

Q1. 志望理由を教えてください。

ICT利活用で、四国住民のより快適な暮らしづくりに貢献したいと思い志望しました。

入局の決め手となったのは職場の雰囲気です。自分が働きたいと思える、一員として働いている姿が想像できる職場だったため入局を決めました。

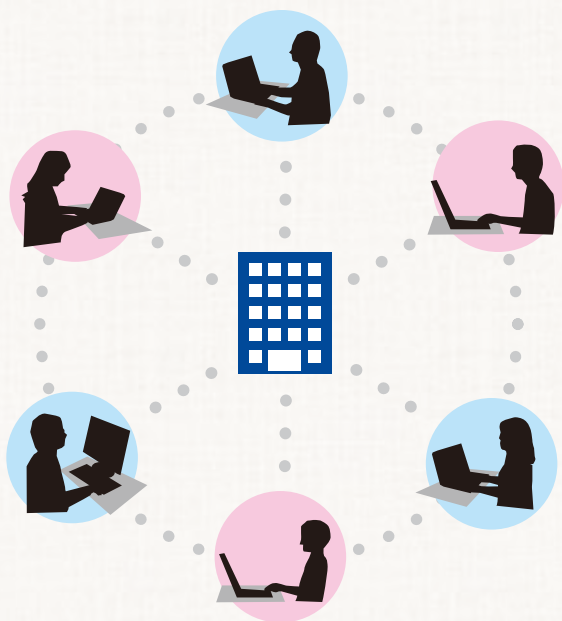
Q2. 職場の雰囲気を教えてください。

皆さん優しく話しかけやすいです。年次休暇取得やテレワーク、フレックスタイム制、定時退勤を推進している印象を受け、働きやすさを感じています。

Q3. 受験生へのメッセージをお願いします。

少しでもICTやデジタル分野に興味がある方には、おすすめの職場です。私は業務説明会がきっかけで四国総合通信局を知り、入局を決めました。興味がある方はぜひ業務説明会に参加してみてください！

総務省はテレワークを推進しています



柔軟な働き方を可能にし、仕事と家庭の両立や通勤負担の軽減にもつながることから、総務省では積極的にテレワークを推進してきました。四国総合通信局では恒常的にテレワークを実施しています。



【入局 1 年目の職員から ～安心できる環境～】

2日に1回のペースでテレワークをしています。最初は「いきなりテレワークで仕事ができるのかな」と不安もありましたが、判断に迷うことや分からないことがあれば、上司や先輩方にチャットや通話で気軽に質問できるため、安心して仕事に取り組んでいます。

また、同期と連絡を積極的に取り合い、業務外のことも相談し合える関係であったため、何か困ったことがあっても同期がそばにいるという安心感はすごくありました。



【入局 5 年目の職員から ～テレワークの恩恵と業務効率化～】

テレワークを週2回程度行っています。押印廃止やペーパーレス化が進んだことから業務負担が軽くなったり、通勤時間が不要になったことから余暇が増えたりするなどテレワークの恩恵を受けているなど感じています。一方で、紙面上の作業が必須な業務や、機密事項を扱う業務があるなど自宅で行える業務が限定されているため、業務の区分けと優先順位付けを意識して仕事をしています。



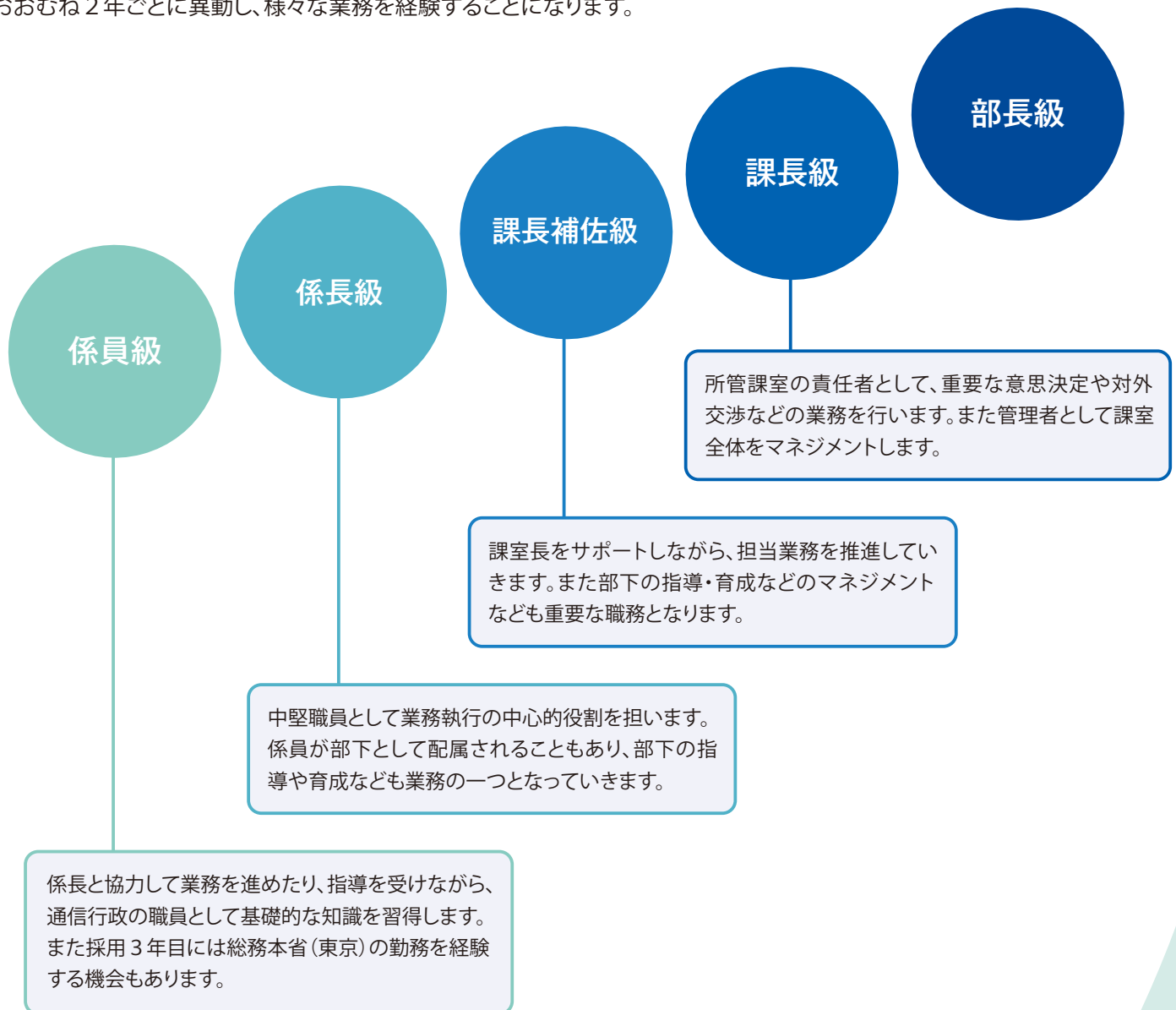
【入局 15 年目の職員から ～育児参加の時間を増やす～】

4歳と1歳の子供がおり、テレワークを週2、3回利用して育児参加の時間を増やしています。テレワークでは、通勤にかかる時間や昼休みを子供と触れ合う時間に充てたり、仕事が終わった後すぐにご飯やお風呂の時間を一緒に過ごしたりすることができ、子供も喜び、妻の負担軽減にもなっています。たまに子供がパソコンを勝手に触ったり、オンライン通話の際に大声を出されたりするのはご愛嬌ですね。

キャリア形成について

入局後は、係員・係長・課長補佐等とキャリアを積みながら情報通信行政を担う国家公務員として成長していきます。

おおむね2年ごとに異動し、様々な業務を経験することになります。



▶ 研修制度

入局後すぐに新規採用職員研修があります。ここで公務員として基本的な心構えや通信行政の基礎的な知識を習得していただきます。その後は担当業務に応じた実践的な専門研修や局内研修が用意されています。

▶ 多様なキャリアパス

他官庁との人事交流や、地方公共団体への出向も行っています。また希望すれば本省に転任し、総務本省にて政策立案や予算業務に携わることも可能です。様々な環境で経験を積み、多角的な視点や調整能力を身に付けることを期待されています。

各課の主な業務

総務部

総務課

局全体の総合調整をしています。広報活動や行政文書の管理のほか、職員の人事や福利厚生のお務などをしています。

財務室

会計管理全般、庁舎管理、資材・財産の調達・契約・管理を行うほか、電波利用料の徴収事務をしています。

信書便監理室

信書便事業者の参入支援のための周知活動や四国の信書便事業者の許認可及び監督をしています。

情報通信部

電気通信事業課

電気通信事業の監督、青少年のネット利用環境の整備、大学等の研究開発の推進、地域コンテンツの流通促進などをしています。

情報通信振興課

Wi-Fi環境の整備、オープンデータ利活用の推進、テレワークの普及等、ICT/IoT利活用を押し進めて地域の活性化に取り組んでいます。

放送課

放送局、CATVの許認可、テレビ・ラジオの受信障害相談の対応、臨時災害放送局の開設支援などをしています。

無線通信部

電波利用企画課

四国の周波数割当状況の管理や電波の利用状況の調査、地域のための電波利用の利活用の促進をしています。

無線通信課（航空海上関係）

飛行機や国際・国内船舶など上空や海上で使用する無線局の許認可や無線従事者免許の交付をしています。

無線通信課（陸上関係）

警察無線や消防無線のほか携帯電話やアマチュア無線など陸上で使用する無線局全般の許認可をしています。

電波監理部

電波利用環境課

電波適正利用のための周知広報や電波の安全性に関する説明会を開催しています。

監視調査課

不法・違法電波の監視や混信妨害源の調査、警察・海上保安庁との共同取締りなどをしています。

Shikoku Bureau
of
Telecommunications

総合通信相談所

情報通信行政に関する相談窓口です。

防災対策推進室

ICTを活用した防災・減災のための対策を推進しています。

サイバーセキュリティ室

サイバーセキュリティ政策の推進に取り組んでいます。

四国総合通信局

総務部総務課人事係

〒790-8795 松山市味酒町2丁目14-4
TEL089-936-5012

採用情報はこちら→



(職員の所属部署は執筆当時のものです)